

## 神によるスンナの保持 (7/7) : 要

:

明:

スンナの保持に する保 手段と 系列、そしてト ラ や福音 を始めとするその他の宗教的 物の保持との 比 。

目:[事 言者ムハンマド彼の言 に して](#)

より: ジャマ ルッディ ン ザラボゾ ( 2011 IslamReligion.com)

日 04 Jul 2011

集日 04 Jul 2011



ここまでは、アッラ によって 言者ムハンマド (神の慈悲と祝福あれ) のスンナが保持されてきた重要な方法の一部について、ごく に て来ました。特 すべきことは、事 上、言者の 代からこれらの保 手段が用い始められていたことです。そこには膨大な情 の消失や歪曲のための扉を く、 のずれがありませんでした。

以下では、M Z スィッディ キ によって、初期のスンナ保 がどういったものだったのかが非常に良く要 されています:

ムハンマドの言行 としてのハディ スは、イスラ ムの最初期から 在に至るまで、ムスリム世界の信仰者たちによる 心な追求と、不断の研究が けられてきました。ムハンマドの生前、多くの教友たちは彼が何を言ったのであれ、それを暗 しようと みましたし、彼の行 を注意深く 察してそれらを他人に えたのです。彼らの一部は彼の 言をサヒ ファ

(羊皮) にき写し、に彼らの生徒にまれ、彼らの家族や追者たちによって保存されました。ムハンマドの死、彼の教友たちが外国に散した、彼らの一部とその追者たちは困をみない辛くしい旅に出て、それらの集に努めたのです

彼らによるハディースの保持と の愕すべき活は世界における文学史上、独特であり… (その学としての卓越性は未だに) 今日に至るまで、他にはをないものです。

## 1

究的には、これらの程がハディース学と、言者へとつながる承路のな等制度を磨き上げたのです。一般的に学者たちは、信にする承者たちからなる、言者にまでる完全な承路でない限り、真正なハディースとして定しません。それ以外のものは、こういったものであれ脆弱なハディースとして却下されるのです。

人はハディース学を学ぶほど、アッラがクルアーンにおいて明言されているように、言者の教えが部に至るまで保持されていることを信することが出来るのです。その分野における家であり、その研究に生涯をやすハディース学者がハディースの真正性に合意するとき、そこにやの余地はありません。私たちに唯一残されたことは、それを信じ、そのハディースの意味合いを日常生活において用することに最善を尽くすだけなのです。

## 他の典との比

一部の欧米人たちによって、言者のハディースが言及されるは「 」といった解を与える用が使われるのが一般的です。これはただちに、でたらめで非学的な承といった印象を与えます。上で仄めかされたように、は完全に なります。それゆえ、この「 」というの使用は、ハディースが保持されていなかったという印象を与える目眩ましにぎません。の一般的に用いられる明は、ハディースの保持が、福音のそれと似たようなものだったというものです。

これは明らかに、多くの人々にった印象を与えかねない狡猾な表です。事、大の改宗者たちは福音を学し、それらの信性がいかに低いかを知っています。これこそが、彼らがキリスト教以外の宗教を探求し出した原因なのです。それゆえこういった表は、彼らのハディースへの信念をらがせます。

らぎない真とは、言者のハディスのかつ科学的な保持と、初期の典（旧新）とは等比が出来ないということです。初期の典の保持法（またはその欠落）に するごく な明でさえ、ハディ ス保持のそれとの明瞭な差を指し示すのに充分だからです。

トラの史にするい をえたあと、ダクスはこう 付けています：

我々の手元にあるトラは、一の一的な物ではありません。にも重なる、切り取りとり付け作のり返された纂なのです。トラが象するともいうべき、元来の示を下されたモゼが生きた代は元前とされ、大目にもつても前  
世以降には生きていませんでした。そして私たちの手にあるトラは、その代よりもはるかのものなのです。可能な最古のトラの断片は、10前のものであり・  
さらに、なる断片同士がみ合わされたのは元前およそ  
世のことで、それはモゼの死000  
年もってからのことでした。また、トラは一度も化されたことがなく、西  
世、つまりモゼの死、500年には  
つもの本が存在していました。それに加え、もしもマソラ本文を公式なトラのテキストであるとすのなら、存する最古の写本は85年、つまりモゼの死、300年もった代のものなのです。つまり、トラには元来のテキストが一部混ざっているかも知れませんが、その典の大半は不明であり、モゼにるものであるとすることは到底出来ません。

イエスはモゼの数世にれましたが、彼の受けた示も同じ命を辿りました。 Fellows of the Jesus

Seminar（フェロシップオブジザスセミナ）と呼ばれるキリスト教学者による体が、イエスの言のどれがに真正のものかを分析したところ、“福音において彼の言であるとされるものの82%は、には彼によるものではない。”<sup>2</sup>

と付けています。福音の史にしても、彼らはこのように述べています：“るぎない事として、ギリシャ福音は1世の作から3世初にその写本がされるまで、その史が知られておらず、未知の域なのである。”<sup>3</sup>バトイアマンの藩 *Orthodox Corruption of Scripture*

では、典がと共にいかに改されてきたかが分析されています。彼の文では、とともに

次の主が明されています：“私の は に、次のように述べる事が出来る：律法学者らはたびたび彼らの 典に改を加え、自分たちの主をより明白に正当化し、 端的な 点を持つキリスト教徒らによる使用を妨げようとしたのである。”<sup>4</sup>  
信条とは されたテキストに基づくべきものであり、信条に沿うよう改されたテキストであってはならないのです。

## クルア ンに する 考

クルア ンとは、言者の言行とはめてなる性のものです。当然ながら、言行の量は膨大な数に及びますが、クルア ンは非常に限定的です。クルア ンは分厚い本とは言えませんし、言者ムハンマドの代からとの双方によって保持されて来ました。他の宗教界にられた墮落を恐れた言者の教友たちは、その多くがクルア ンを全暗し、いかなる歪曲からも守られるような必要措置を取りました。言者の死まもなく、クルア ンは一にまとめられ、テキストの性が保たれるよう、そのすぐに公式な写本が各地に配布されました。在に至るまで、世界のどこかの国へ行ってクルア ンを手にとってみれば、他のものと全く同じクルア ンを出す事が出来るのです。クルア ン保持の任と、大量にあるスンナの保持とは比の象にすることが出来ません。それゆえ、当のムスリムたちの姿からも取れるよう、クルア ンが完全に保持されていることはそれほどくことでもないのです。

---

### Footnotes:

1

M. Z. Siddiqi, pp. 4-5.

2

Robert W. Funk, Roy W. Hoover and the Jesus Seminar, *The Five Gospels: What did Jesus Really Say?* (New York: MacMillan Publishing Company, 1993), p. 5.

3

Funk, et al., p. 9.

Bart D. Ehrman, *The Orthodox Corruption of Scripture: The Effect of Early Christological Controversies on the Text of the New Testament* (New York: Oxford University Press, 1993), p. xi.

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/603>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。